

# 群馬大学 先端科学研究指導者育成ユニット 河野グループ

本グループは、2013年4月にスタートした新しいグループです。視床下部の摂食代謝中枢に焦点を当て、肥満の発症や増加の背景にあるメカニズムを探っています。コンディショナル・ノックアウトマウスの解析や生理学実験、生化学実験などにより、視床下部の摂食代謝調節ニューロンがどのように全身のエネルギーバランスを制御しているのか、そして、その鍵となる分子メカニズムは何であるかを解明しようとしています。

広く生物系学部出身の方、医師の方など多様なバックグラウンドの方とともに学んでいきたいと思っております。また、本グループは群馬大学生体調節研究所 代謝シグナル解析分野(北村忠弘教授)にも所属しており、幅広い知識やサポートを得ることができます。

## 研究テーマ:

### 1. 視床下部摂食代謝調節ニューロンのエピジェネティクスと肥満の発症

エピジェネティクスは、環境要因による肥満発症に関係すると考えられる。DNAメチル化酵素やFTOの視床下部における役割を解明する。

### 2. 視床下部摂食代謝調節ニューロンにおける、エネルギー情報の感知と統合

エネルギー情報であるホルモンや栄養素(ブドウ糖、脂肪酸など)が視床下部の摂食代謝調節ニューロンでどのように感知・統合され、摂食やエネルギー代謝の制御につながるのか明らかにする。

